		男子ホ	ッケ	一日	本代	表	F —.	ムフ	アズ	ランシ	゚ャーカ	ップ			
	日 作	201	6年4月	15日	16:05	~									
t	昜 凡	Г	マレーシア・イポー					天 候			晴れ				
試合			É	第6戦				通算結果		;	日本 6敗				
						R	ESUL	_T							
Country					<u>.</u>	0	-	0				Country			
					,	0	_	2	\	A					
	•	Japan		1	(1	_	1)	4		Pakistan			
						0	_	1							
						U		'							
	1	Т			1		Ī			1					
Minute		Name		GREEN	YELLOW	RED			Shrit No.	Name		GREEN	YELLOW	RED	
4	1	山崎 晃嗣						<u> </u>	1		BUTT Imran (GK)				
~	2	山田 翔太						~	2	BILAL Muhammad Aleem					
~	3	粥川 幸司						23	3		SHAH Syed				
4	5	田中 世蓮						6	4		RIZWAN JR. Muhammad				<u> </u>
/	6	落合 大将						~	5		ARSHAD Muhammad				
/	7	村田 和麻							6		ABBAS Tasawar				
~	8	星卓						<i>'</i>	7		QADIR Muhammad Arslan				
/	9	田中健太						<i>'</i>	8		IRFAN Muhammad (C)				
/	11	北里 謙治						11	9	IFRAN	IFRAN JNR Muhammad				<u> </u>
/	13	山下学						<u> </u>	10		SHAN Ali				
/	17		福田健太郎					9	11		ALI Rizwan	(0.14)			
4	18		渡辺晃大					52	12		ABBAS Mazhar (GK) AHMED Fareed				-
4	19		山水 翼瑳					10	13		SHUTTA Muhammad Umar				
5	22		膳棚 大剛					<i>'</i>	14						
4	23	木下 拓弥 斎藤 晃世						\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	15 16		AHMAD Ajaz BUTT Ammad Shakeel				<u> </u>
~	30							24	17		RIZWAN SR. Muhammad				
~	32	カ	٠)					<u> </u>	18		MEHMOOD Rashid				
_		山堀 貴彦		 				Coach		IVILI				mad	
									JUNAID Khawaja Muhammad						
Manager 穴井 善 UMPIRE LIM Hong Zhe							Manager UMPIRE		KAHN Abdul Haniff KAMARUDIN Nazmi (MAS)						
UIVII	INL		Jilg Zile	ii (Siiv	,			OWI	INL		KAWAKU	DIN Na	Z1111 (1VI.	A3)	
т		Name	l		C			T			Laura	.		C	
	Minute		Action		Score				Minute		lame	Action		Score	
PAK PAK	20 24	SHAN Ali ALI Rizwan	FG FG		0-1 0-2			PAK	57	MADIK MU	hammad Arslan	FG		1-4	
JPN	48	山田 翔太	PC		1-2										
PAK	48				1-2										
PAK	48	QADIR Muhammad Arslar	FG		1-3			L				l			
日本の	年6半	相手はパキスタン。こ	の計合	の勝孝	が明ロ/	の5位油	定能に	准かる言	重力た ₩	むへでなる					
日本の	センタ-	ーパスにより試合が開 ノは ドリブル空破から	始される	5。日本	は、立ち	5上がり	から積	極的な攻	て撃を見	,せパキス	.タンゴールへ	と近づ	くが得点	ことはな	らな

ロネのピンターハスにより試合が開始される。日本は、近ち上がりから積極的な攻撃を見せれてスタンコールへと近ってが特点とはならない。パキスタンは、ドリブル突破から日本陣内への侵入を試みるが、DFの好守によりチャンスを作りだすことができない。第2Qの20分、チャンスをものにしたのはパキスタン。ドリブル突破からサークルに入り、ゴール前の味方へとパス。スイープで押し込み先制となる。また、その4分後には同じような展開から追加点を奪い2点差となり後半戦へと入る。第3Q、ゲームを支配しているのは日本。しかし、チャンスで決めることができない。第4Q、日本ペースは続く。48分、パスワークからサークルに侵入しPCを獲得する。これを山田がフリックシュートで決め1点を返す。完全に流れをつかんでいる日本であるが、48分・57分には、攻撃の意識が強くなっているDFの裏へロングパスが繋がり、ドリブルからシュートを決められ、差を広げられてしまう。日本は反撃を繰り返し、何度もチャンスを迎えるが決めきれず試合終了。日本は今大会、7位という成績に終わった。

IDN	14	シュート数	11	DVK
JEN	6	PC数	1	PAN